

生徒会 終礼の放送 いじめ0の日⑥ 1月20日 原稿(案)

皆さんこんにちは。生徒会です。今日は1月20日です。私たちは、毎月「0」のつく日にいじめ問題を一緒に考え、いじめを撲滅するための取り組みとして、放送を行っています。生徒の皆さんに落ち着いて放送を聞いてほしいので、前回から終礼の時間を使って放送をしています。

今年最初の放送では、昨年行われた人権集会についてお話しします。

人権集会では、私たち生徒会が人権宣言を行いました。どんなことを宣言したか皆さん覚えていますか？10秒ほど、周りの人と話をして思い出してください。

生徒会は「いじめのない学校を目指す」という人権宣言を行いました。そして、現在、特に問題になっている「インターネット上のいじめ」を中心に、この人権宣言を考えました。インターネット上のいじめの特徴として次の3点があげられます。

1. 発覚しづらい

チャットグループでは、そこに参加しているメンバー以外はやりとりの内容を見ることができませんし、SNSでも自分の投稿を友だち以外には見せないように設定することができます。そうしたサービス上でいじめが行われると、外部から状況を把握するのがとても難しくなります。しかし、法的要請で運営会社が特定することがあります。

2. エスカレートしやすい

インターネット上では匿名で書き込むこともできるため、対面では言えないようなひどいことでも気軽に発言できてしまいます。また、24時間どこからでもいじめが行えてしまうので、知らず知らずいじめがエスカレートしてしまうことがあります。

3. 意図せず加害者になってしまうことがある

インターネット上のやりとりでは相手の気持ちを読み取るのが難しく、自分は軽い悪ふざけのつもりだったのに、相手はいじめられていると感じていたというケースがしばしば起きています。「いじり」か「いじめ」の判断は、された側にあるのです。

インターネットは私たちの生活にとって、なくてはならないものになりました。だからこそ、インターネットの危険性を理解したうえで、適切に活用する力が私たちには求められています。

自分や友だちがいじめの被害にあったときや、いじめが疑われる書き込みを見つけたときは、必ず、すぐに保護者や学校の先生、友人に相談してください。

以上で生徒会からの連絡を終わります。